

ふじさわSDGs共創パートナー交流会

「循環」 トーク

～「ふじさわ」らしい循環を考える～

2026.3.12



「学生服リユースshopさくらや」について

『子どもの貧困を救いたい!!』

2011年香川県高松市で創業



商標登録 第5680178号



さくらや藤沢店

2023年6月創業(創業3年目)



藤沢市辻堂元町5-4-19

学生服リユースshopさくらや藤沢店の取り組み

- ・2023年7月ふじさわSDGs共創パートナーに登録
- ・2023年11月かながわSDGs共創パートナーに登録



藤沢市役所への回収BOX設置

- ・査定額を藤沢市こども未来基金へ寄付し、洗濯を障がい者就労支援施設に依頼。(2024年から現在まで3回実施)



環境ワークショップの実施

- ・お繋ぎする事の出来ない学生服や廃材を使用してのアップサイクルのワークショップを実施。



藤沢市みらい創造財団と協定を締結

- ・市内の財団様が管理する施設に回収BOXを設置
- ・団体様が実施するサマースクールで子供達と環境ワークショップを行いました。



リユースランドセルの無料譲渡会

- ・2024年1月に初めて実施。
現時点で藤沢市内で譲渡会を10回実施し、計102個のランドセルを必要とされてる方へ譲渡しました。



小田急SCディベロップメントのパートナー企業としてRe:bornプロジェクトに参加

- ・ブックオフ、リゲイトと共に学生服、本、子供服などのご家庭で不要になった物を回収し循環させ、回収物の査定額を原資とし、9つの自治体へ子供たちへのギフトを送りました。(現在まで4回開催)

「めぐる」でつながり、
あそび、未来をつくろう。

私たちの住む湘南・藤沢を

人とモノ、人と自然、人と人との「めぐりあい」で

もっと楽しく、豊かな街にしたい

FujisawaのF FutureのF

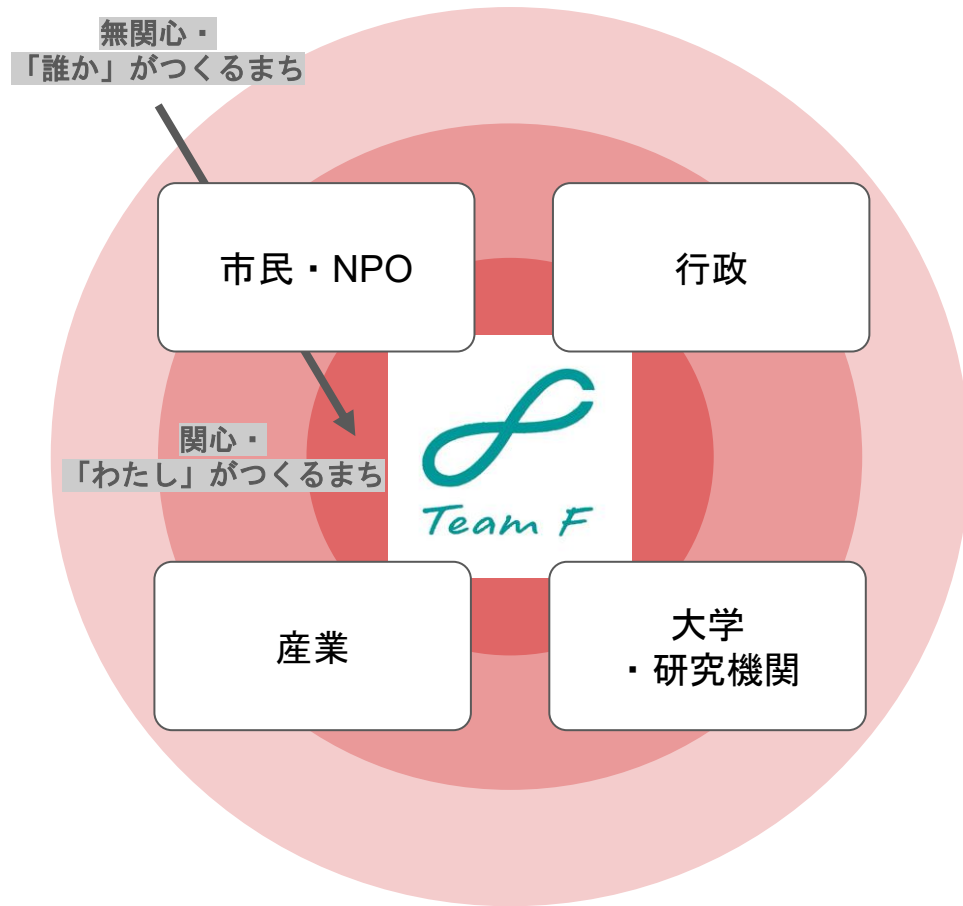
あなたのFは何ですか？

このまちをもっとサステナブルでサーキュラーなまちへ

あなたの声、思いをお寄せください



わたしたちについて・やりたいこと



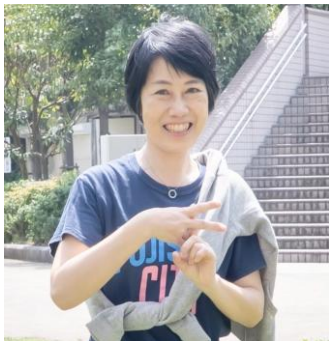
多様な想い・得意を持った人を繋ぐことで、持続可能なまちの未来を主体的につくる共創を有機的に生み出していく活動を実験・実行していきたいです。



そのための
経験・知識、
多様な人を繋ぐためのツール、
を「チーム」として持っています。

チームFメンバー

藤沢市主催「未来共創セッション」（2023年度）で出会った有志メンバーで構成



代表
木村麻紀

ジャーナリスト・
サステナビリティ
ライティング



副代表
外川綾音

共創・成人教育・
北欧
ワークショップデ
ザイン



監事
瀧田信之

人権・NPO・
SDGs
コーヒー、心理カ
ウンセラー



デザイン担当
山中結夏子

デザイナー
グラフィックデザ
イン・制作



写真担当
坂本慶子

フォトグラファー・
アーティスト
写真

日ごろの活動

ゴミ拾い後にコーヒーを飲みながら情報交換して地域の友だちをつくる「Clean up and Coffee Club 湘南藤沢」を開催しているほか、「服と本の交換会」や「世界で一つのマイバッグづくり」などを通じて人とモノ、人と人とのつながりの「めぐりあい」を大切にしています。



CCC湘南藤沢ではコーヒーを媒介に初対面でもすぐに打ち解けた雰囲気



江の島で開催したマイバッグづくりワークショップ



湘南T-siteで開催されたクリスマスマーケットでの服と本の交換会

2026年1月31日（土）

子どものための交換会&ランドセル譲渡会 @辻堂東海岸市民の家

着られなくなった洋服や
読まなくなった本を
地域みんなで交換しよう！



2026年

1月31日(土) 10:00～15:00

辻堂東海岸市民の家 [藤沢市辻堂東海岸2-6-20]

持ち込める
もの

- ・小学生までの子どもが着られる洋服、読める本
- ・文房具などの学用品（筆記用具は新品に限る）

点数限度

お持ち込み・お持ち帰り
いずれも3点まで

主催 | 学生服リユースShop さくらや・Team F (チームエフ)



子どものための交換会＆ランドセル譲渡会の様子



子どものための交換会＆ランドセル譲渡会の様子



SDGsとの関わり

12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



11 住み続けられる
まちづくりを



子どものための交換会＆ランドセル譲渡会 その後

「子どものための交換会」で集まった子ども向けの絵本や漫画、本の一部を藤沢市川名エリアで放課後の子どもの居場所を運営する「nico川名」さんに寄贈しました。



地域の中で「循環」をつくる意義

- 輸送等に伴う環境負荷を最小化できる
- 地域のつながり促進、雇用創出
- リユース品、収益の使い方による波及効果

☞ 地域内共助のインフラへ

これからどうする？

徐々に規模を大きくして、まちぐるみの循環イベントに繋げたい!!

名古屋循環フェス
2025年11月2日



洋服交換会の様子



回収箱設置場所

どうもありがとうございました！

ふじさわで「循環」の輪をご一緒につくりませんか？



@SAKURAYAFUJISAWA



@TEAMF.SHONAN